



チーム嶋村 ガバナー月信

Take Action for Rotary Future. Reach Out for World Peace.

第9号 2023年3月発行



親愛なる会長のみなさん

こんにちは。お元気でしょうか？

3月6日、次年度のPETSが開催されます。次年度会長への協力は大切なことです。同じく、私たちの年度も大切です。会長のみなさんには「元気なクラブづくり」のために年度の最後まで邁進してほしいと願っています。

1. クラブの10年後の年齢構成

みなさんのクラブは、私たちの年度に新しい仲間を迎えることはできましたでしょうか？そして、大切な会員が退会されていませんか？2022年12月末の地区の会員数は前年度末比で65名の増加になりました（本年度入会者154名、本年度退会者89名）。この数字はたいへん嬉しいことであり、みなさんに感謝しています。ただし、気になることがあります。それは、高齢、体調不良、健康上の理由で退会するメンバーが目立つことです（別紙に「退会者情報の分析」があります）。本年度は「ロータリー賞」の登録（My Rotaryの「ロータリークラブ・セントラル」による目標設定）をお願いしています。クラブの「健康診断」と共に、10年後の会員の年齢構成をチェックしてはいかがでしょうか？10年後の会員の退会可能性とクラブの予測会員数を把握できるかもしれません。

2. 会員増強の基本と親睦に満ちたクラブ運営

会員増強の基本は、より良い社会づくりに貢献できる良きロータリアンを増やすことです。みなさんには、新しい会員を迎え入れ、親睦に満ちたクラブ運営を行ってほしいです。

このごろ、例会に顔を出していない会員がいたら声をかけましょう！

例会時には、会員全員とお話しましょう！

充実した会長の挨拶をしましょう！

チーム嶋村 ガバナー月信

3. 3月は「水と衛生月間」です

日本に暮らす私たちは、上下水道設備が整えられ、安全な水ときれいなトイレが普通になっています。ただし、世界では水を取り巻く環境はたいへん厳しいものです。「安全な水と衛生設備の利用は、すべての人がもつべき権利。なのに、汚染水で病気になる人や命を落とす人が後を絶ちません。未来を担うはずの子どもたちは、水汲みなどの労働によって学校に通えず、つらい境遇を強いられています」(国際ロータリー「水と衛生」のページより)。「ロータリーはこれまで何十年にもわたり、井戸を掘り、配管工事を行い、浄水設備を整え、流し台やトイレを設置するなどして、人びとが安全な水を利用できるよう支援してきました」(国際ロータリー「水と衛生への新たなアプローチ」のページより)。安全な水の提供により、地域社会の水環境が改善され、多くの命が救われ、さらに、子どもへの教育の改善にも寄与してきました。たとえば、私の所属する東京東江戸川 RC でも、2019年11月、北タイ・アカ族のホイ・サンマイ村に浄水設備と貯水タンクを地区補助金の活用により支援させていただきました。現地でも子どもたちが安全な水を頬張る様子に、この奉仕事業に携わった会員は感激しました。



「しかし最大の課題は、このような設備が整えられた後にあります。それは、はじめにプロジェクトが成功してもゆくゆくは失敗に終わるケースが頻繁にあるからです。これまで井戸の設置に重点的に取り組んできたロータリーのプロジェクトは、その焦点をより効果の高い衛生教育プロジェクトに変えました。アフリカ、南米、南アジアの一部では、まるで持続不可能となった奉仕プロジェクトの証とでもいうように、錆びた給水ポンプや老朽化した衛生施設があちこちに見られます。ロータリーがここ数年、活動の焦点を教育、協力、持続可能性に転換したのもこれが一つの理由となっています」(国際ロータリー「水と衛生への新たなアプローチ」のページより)。たとえば、東京新都心 RC は、ネパールに設置した井戸のメンテナンスや井戸の数も十分に足りていないという課題を把握し、本年度、新たな井戸掘り事業に着手することを決定しました(別紙に東京新都心 RC「水と衛生月間 ～ネパールで新たな井戸掘り事業～」があります)。

4. これからも充実する地区の行事

地区の行事はこれからも充実していきます。機会を捉え多様なプログラムを散りばめています。「元気なクラブづくり」のヒント・アイデアを得るために、クラブのみなさんと一緒にご参加をお願いします。3月開催は次のとおりです(クラブには別途ご案内を送信しています)。

3月1日(水): DEI セミナー

3月5日(日): Rotary Future Festa (ロータリーファミリーとの交流の機会)

3月10日(金): ロータリー希望の風奨学金支援 東日本大震災チャリティーコンサート
～東北の未来へ向けて～

チーム嶋村 ガバナー月信

4月の「環境月間」には「アースデイ 2580」として、「ぶっく・デ・アース」プログラムをはじめ各クラブでさまざまな環境についての取組みが行われます。各クラブが単独で個性ある活動を行うだけでなく、複数のクラブが協力して行う活動もあるようです。昨年10月の「世界ポリオデー2580」と同様に、みなさんとの参加型奉仕活動をたいへん楽しみにしています(ただ今、地区アースデイチームで計画を取りまとめ中です)。

2023年3月1日

国際ロータリー第2580地区ガバナー 嶋村文男

※ガバナーへのメッセージをお待ちしています→ info@motoffice.jp

今月号、チーム嶋村ガバナー月信編集委員会企画記事のご紹介

元気なクラブづくりのための会員増強、参加型奉仕活動の企画・運営の参考情報です。

1. ロータリアンのご紹介 ～東京田無 RC の会員～ (P. 4)
2. クラブからのロータリー活動の情報提供
～東京新都心 RC、東京浅草中央 RC、東京ワセダ RAC～ (P. 5-6)
3. クラブから「東日本大震災被災地支援」の情報提供
～東京北 RC、東京田無 RC など～ (P. 7-8)
4. グラフで見る地区の会員数分析 (P. 13)
5. 退会者情報の分析 (P. 15)

ロータリアンのご紹介 ～東京田無 RC の新入会員～

文書構成：チーム嶋村ガバナー月信編集委員会

元気なクラブづくりや会員増強などの役に立つ情報の一つとして、ロータリアンのご紹介をします。

今回ご紹介するのは、**東京田無 RC の山田裕太さん**です。2022年7月、入会されました。ガバナー公式訪問時、嶋村文男ガバナーがロータリーバッジを渡しました。

Q1：プロフィールを教えてくださいませんか？

新潟県上越市出身の38歳です。大学進学(日本体育大学)をきっかけに上京。治療院勤務のために、西東京市に居を移し、現在やまだスポーツマッサージ治療院を経営。鍼灸あん摩マッサージ指圧を用いて各種スポーツチームへの帯同業務も行っています。



Q2：ロータリーを知ったきっかけを教えてくださいませんか？

元々勤務していた治療院に、東京田無 RC のみなさんが来院されていたことでロータリークラブの存在を知りました。

Q3：なぜ、入会しようと思ったのでしょうか？

東京田無 RC、本年度の斎藤雄作会長と樋口信太郎幹事は西東京青年会議所で共に地域のために汗を流す仲間でもあります。他の会員のみなさんにも、公私共にお世話になっていることもあり、お誘いいただいたことがきっかけでした。

Q4：入会してクラブはどのような雰囲気でしょうか？

みなさんが温かく受け入れてくださったことが印象的です。年齢層の幅が広く、時には真面目に、時には楽しく、メリハリのある大人の会という雰囲気で、新入会員もとても参加しやすいクラブの雰囲気となっています。

Q5：青年会議所の理事長からロータリアンとなり、見えてきたものはありますか？

青年会議所の理事長として、地域課題に向き合う際、ロータリークラブのみなさまには多くのご支援とご協力をいただいております。ロータリークラブの奉仕の理念に触れ、今度は自分が地域や社会、世界に向けて奉仕をする素晴らしさを考えるきっかけになりました。青年会議所は40歳で卒業という制度があります。しかし、ロータリークラブは体が元気な限りさまざまな場面で奉仕を続けられるので、自分のできる限りの行動で貢献したいと思います！

Q6：ロータリアンとして行いたい奉仕活動はありますか？

出身が新潟県上越市ということもあり、海が近い街で生まれ育ちました。魚を食べるのが好きなのですが、日本では魚食文化が衰退しているという記事や、さまざまな魚種の漁獲量の減少なども問題となっています。海洋環境の改善に貢献できるような社会奉仕活動ができるようになればと思っています。

チーム嶋村 ガバナー月信

クラブからのロータリー活動の情報提供

水と衛生月間 ～ネパールで新たな井戸掘り事業～

執筆：東京新都心 RC 理事 半場慎一、国際奉仕委員長 北岡修一

東京新都心 RC は、2017 年、グローバル補助金を活用してネパール中部のチトワン地方において井戸掘り事業を実施しました。それから 6 年経ちますが、現地の「安全な水、衛生リソース」の問題はまだ解決されたわけではなく、設置した井戸のメンテナンスや井戸の数も十分に足りていないわけではありません。



そこで本年度、新たな井戸掘り事業に着手することを決定しました。私が

会長を務めた 2018-19 年度、当クラブ創立 30 周年式典の際にネパールにてグローバル補助金を活用して井戸掘り事業を実施したカトマンズのナガルジュン RC と友好クラブの調印をしました。その友好クラブのナガルジュン RC と第 2 フェーズのスタートです。新たな井戸掘り事業は、ロータリーのこのような活動にたく賛同していただいた元会員のお客様が、遺言により当クラブに 200 万円を預託していただいた資金を元に行うこととなります。

ネパールを訪問した東京新都心 RC のメンバーには平将明さんとネパール出身のヴァッタ・ヴァバンさんもいました。ヴァッタさんに現地コーディネーターをしていただき、発表の機会をいただきました。RI 理事のバスデブ・ゴリヤンさん、ネパール第 3292 地区ガバナーのジテンドラ・ラズバンダリーさん、ナガルジュン RC、ダルバルマガル RC、クポンドル RC、経団連、ネパール商工会議所、JICA、日本大使館など約 150 名の前で、安全な水で子どもたちの喜ぶ笑顔や地域社会への貢献のために日本円で 200 万円を元に 50～100 か所の井戸掘り事業を寄付させていただきますと発表させていただきました。会場のみなさんは立ち上がり、拍手喝采となりました。現在、事業計画をクラブの理事会と北岡修一国際奉仕委員長がネパール・ナガルジュン RC の担当と進めています。



台東区ちびっこフットサル大会（浅草中央ロータリーCUP）

執筆：東京浅草中央 RC 幹事 立野秀一

1月29日、台東区リバーサイドスポーツセンター体育館にて、当クラブ主催による台東区ちびっこフットサル大会（浅草中央ロータリーCUP）を開催しました。嶋村文男ガバナーはじめ他クラブからもご訪問をいただき（編集者注：東京北Exchangeロータリー衛星クラブ会員など）、当クラブも総会員数45名のうち7割を超える32名が出席しました。本大会は台東区長も開会式にご参加いただき、ちびっこ選手たちにエールを贈られました。



第2580地区 Facebook ページ掲載の写真

今回のイベントは、①ブラインドサッカー研修会を通じて、障がいや多様性の理解、個性の尊重などを促す体験プログラムを行う、②コロナ禍による台東区内小学生の運動不足を解消、健全育成を行うという目的のもと企画されました。次のようなプログラムが実施されました。「日本ブラインドサッカー協会による体験プログラム」「台東区小学生フットサル交流大会」「フットサルエキシビジョンマッチ（みんなで観戦）：FC台東 VS リガーレヴィア葛飾」「リガーレヴィア葛飾選手によるフットサル教室」。

なお、本大会はケーブルテレビJCOMによる取材もなされ、2月1日、18:00から、「つながる news」で紹介されました。

妊娠SOS新宿への支援 ～コロナ禍での食糧運搬活動～

執筆：東京ワセダ RAC

望まない妊娠をされた女性を保護・支援されている「妊娠SOS新宿」へ毎月約100-150kgの食料運搬ボランティアをしています。食料はMUJI新宿より支援いただいたお米やレトルト食品が中心です。スポンサークラブである東京ワセダRCから資金提供をしていただき、企業支援では集まりづらい離乳食やミルクなども毎月提供しています。人手が足りず今まで運べなかった支援物資をローターアクターが届けることで、「妊娠SOS新宿」からより多くの配布が可能になりました。



クラブから「東日本大震災被災地支援」の情報提供

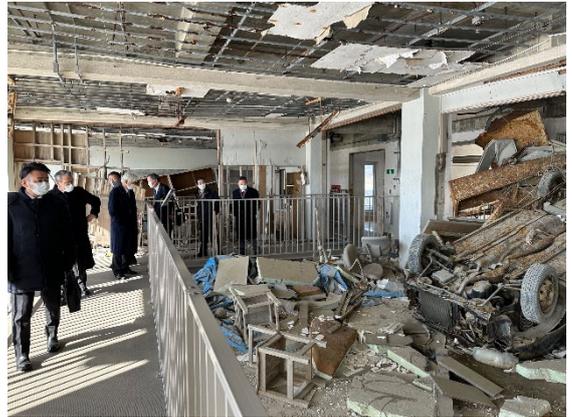
気仙沼ロータリークラブ奨学事業の支援について

執筆：東京北 RC 社会奉仕委員長 飯田永介

①気仙沼 RC との「育英奨学助成金交付式」(2023年1月31日) 参加報告

コロナの影響で2年ぶりの開催ということで、ようやく出席が叶いました。前日、新幹線で一ノ関に着き、タクシーに分乗して気仙沼に。その後、気仙沼 RC の方々が懇親会を企画していただいております、とても楽しく過ごしました。

当日は、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館を見学の後、例会、交付式に臨みました。看護学校への進学2名、薬学部への進学2名への交付となりました。「父が病気で亡くなって寄り添うことの大切さを知った」「震災で人の命を



助けたい」「震災で人の心の支えになっている看護師を見て、叔父が難病で死にかけたが薬剤師の機転で生き延びた経験をした」など、とても進学の動機がはっきりしていて、気持ちの良いスピーチをしてくださいました。震災当時6、7歳ということでしたので、後もう7年くらいは、この活動を続ける意味があると強く感じました。これこそがロータリー活動だと思います。

②東京北 RC 週報 (2月7日発行) に掲載された社会奉仕副委員長、北澤孝太郎会員の報告

東京北 RC が気仙沼 RC の奉仕事業「育英奨学助成金」の支援を始めたのは2014年。10年目となる今年は9名の会員で気仙沼を訪ねました。2014年から2023年の10年間で奨学金を授与された生徒数は74名。奨学金授与式に参加した東京北 RC の会員数は延べ40名となります。例会日が同じ火曜日ですので参加人数は限られますが、この支援活動を続けてきたことに大きな意味があると思っています。

毎回、授与式に参加して思うことは、奨学生たちのスピーチの素晴らしさです。各人、進路はさまざまですが、それぞれに目的意識が明確で、震災という悲惨な経験を克服し、活かしていく意志の強さが伝わってきます。共通しているのは、将来は気仙沼に戻り地域に貢献したいという郷土への思いです。奨学生たちの高い志と希望に溢れた言葉を聴くと、まさに背筋が伸び、大切なものを教わったような気持ちになります。

訪れるたびに復興が進み、どんどん変わっていく気仙沼の風景。道路や防波堤、災害公営住宅等、復興のインフラ整備は着実に進み、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館、魚市場の新棟、気仙沼大島大橋等も完成し話題になりました。ただし、気仙沼の人口は震災前と比べると1万人以上減少。子どもの数も減少し、学校の統合・閉鎖も始まっています。インフラのハード面での復興が進む一方、「復興疲れ」を感じ始めている人も多く、新たなコミュニティの形成などソフト面での復興が望まれています。

私たちができることは微々たるものかもしれませんが、ただし、この被災地への「長期的」な支援、子どもたち(教育)に対する支援、気仙沼 RC とのご縁でつながっている顔の見える支援を、継続していく意味を改めて感じています。

チーム鳴村 ガバナー月信

女川市への支援の継続 ～訪問再開を検討中～

執筆：東京田無 RC 次年度社会奉仕委員長 関口豊一

2019年6月13日、田無RC創立50周年に女川町より女川町教育委員会のお二人が出席され、仮設住宅への支援、現地の復興状況などを説明されるとともに、クラブとの交流をさらに深めることができました。その後、2011年より毎年続けてきました現地訪問はコロナの影響もあり、2019年10月1日、2日が最後の訪問となっております。しかしながら、2020年7月、女川町立女川小中学校新校舎竣工後、クラブより、電子黒板1台を納品・寄贈しました。



現在、コロナの重症化の恐れが少なくなってきたことにより、本年度中もしくは次年度に女川町訪問を検討しているところです。

他にも、多くのクラブが東日本大震災被災地支援を継続しています（一部再掲）。



東京本郷 RC

2022年8月2日(火)、福島県の子どもたちを招いて「未来にはばたけ！ 少年少女野球大会 in 東京ドーム」を開催。グラウンドで子どもたちは素晴らしいプレーを繰り広げました。未来にはばたく子どもたち、保護者、関係者の笑顔が溢れていました。



東京浅草中央 RC

2022年10月22日、23日、浅草神社の神楽殿において、福島県立好間高等学校フラ同好会 OG にフラダンスの機会を提供しました。地元の方々だけでなく、全国・全世界から訪れる観光客の方々にご覧になっていただきました。



東京板橋セントラル RC

ローターアクターの立上げた「気仙沼仕事創出プロジェクト」をサポートしています（現在はローターアクト学友により運営）。気仙沼の水産加工品の定期購買事業や水産加工会社の経営者を対象とするマーケティング講座などを開催しています。写真は、2021年12月、城西国際大学大学院の学生を気仙沼魚市場にアテンドしたときのものです。2023年3月11日、12日、本年度のアテンドを行う予定です。

チーム嶋村 ガバナー月信

ローターアクト 2022-23 年度の報告と第 54 回地区年次大会のご案内

執筆：地区ローターアクト代表 春木優杏

2022-23 年度は地区ターゲット「Think Future」を掲げ、約 9 か月の間、ロータリアンやローターアクターのご理解・ご協力のもと、地区運営を行ってきました。近年、さまざまな制度変更によって、ローターアクトの立ち位置が大きく変容しつつあります。2019 年の国際ロータリーの規定審議会で定められた「ローターアクトの RI への加盟（19-72）」を筆頭に、年齢制限の撤廃や提唱方法の変更、人頭分担金の支払い発生、地区補助金やグローバル補助金の利活用など、多岐にわたります。クラブや地区が持続的に発展・成長し、会員が活動を継続するためには、これらの変化に迅速かつ



プロギングの開会式。左から、ガンエルデネ学友会会長(2580)、春木(2580)、Wilson 代表(2750)、イヒョンジン学友会会長(2750)

適応していくことが重要です。本年度、地区ローターアクトとしては、行事や会合の企画・開催を通じて、ローターアクターに対しさまざまな機会を創出することができました。2022 年以降、With コロナの考え方が一般的になり、これまではオンラインで開催していた各クラブの例会や行事が、ようやく本来の形式で行えるようになるなど、ロータリアン・ローターアクター・ロータリーファミリーがリアルでつながる機会が非常に多かったことが何よりも嬉しいことです。本記事では、本年度の活動を振り返りながらご報告するとともに、5 月 7 日に開催予定の第 54 回地区年次大会のご案内をします。

基本的な地区会合として、7 月・10 月・1 月に会長幹事会を開催しました。各クラブ会長幹事を参加対象とした本会では、変更された制度やロータリーとローターアクトの最新情報を伝えるだけでなく、各クラブの例会や奉仕事業などの取組みを紹介していただくとともに、各クラブの課題解決のためのディスカッションの機会を多く設けました。これまでは別日に開催されていた地区ローターアクト委員会を同日開催とすることで、参加者の負担軽減とともに、ロータリアンとローターアクターが交流する機会がより増えました。

本年度のトピックスとしては各分区ごとで開催した「ガバナー訪問交流会」です。合計 4 回の訪問交流会では合計約 200 名のロータリアン・ローターアクターにご参加いただきました。「ロータリアンとローターアクターが相互に交流し、今後の活動における接点を育むこと」を行事の目的とし、嶋村文男ガバナーと地区ローターアクト代表からのスピーチに加え、各クラブ会長より方針やターゲット、活動紹介などをしていただきました。今後、RC と RAC が協力して各地域で実施できる奉仕事業について企画を行う、対話の機会も設けました。これからローターアクターがさまざまな機会をいただき、ロータリーと共に歩んでいく上で、ファーストアクションになりました。

ローターアクトの強みである友好地区や各学友会とのつながりを活かし、11 月に第 2750 地区（東京南部・PBG）と南北合同地区行事という形で、両地区の地区ローターアクト、米山奨学生学友会の共同開催でプロギング（スウェーデン発祥のゴミ拾い×ランニングをかけあわせたアクティビティ）という新たな活動を展開することができました。両地区からロータリアン・ローターアクター・米山奨学生と学友・インターアクター・ゲストを合わせ約 100 名の方にご参加いただきました。第一部ではプロギングジャパン代表理事の常田さんにプロギングの概要や魅力について卓話をしていただき、昼食を挟んだ後、実際に

チーム嶋村 ガバナー月信

新宿中央公園付近でプロギングを行いました。市街地でありゴミが多く散見されていたこともあり、実際はランニングでなくウォーキングをしながらになりましたが、短時間で非常に多くのゴミを回収することができました。ロータリーファミリーの可能性を感じることができたと同時に、ローターアクトのモットーである「奉仕を通じた親睦」をまさに体現できた行事になりました。

本年度、最も力を入れたのはロータリーとの連携強化です。この連携強化の背景には、嶋村ガバナーを始めとするロータリーの地区役員・地区委員のみなさまのご理解とご協力がありました。数多くのロータリー行事が、私たちローターアクターのほか、各プログラムや学友組織が参加しやすい日程で開催されたことに加え、登壇や活躍の場をいただきました。地区大会ではローターアクトブースにて新宿作業福祉所のマフィン販売を実施し、多くのロータリアンにご購入いただきました。10万円近い収益金については全額、



地区大会のローターアクトブースにて

ロータリー財団の災害救援基金に寄付をしました。その他、ローターアクトでの補助金活用の今後を見据え、地区ロータリー財団セミナーや地区補助金セミナーへ初めてローターアクターが参加し、ロータリー財団や補助金制度のイロハを学ぶことができました。2023-24年度から当地区でも地区補助金をローターアクトクラブに適用されることが決定しました。今後、各ローターアクトクラブが補助金の制度と目的を十分に理解した上で、奉仕事業を実施するために補助金を適切に活用することを期待しています。12月の「Imagine Rotary 環境ワークショップ」では「ローターアクターが取り組む環境保全活動」と題し、近年、ローターアクターが中心に取り組んでいる環境保全活動についてご紹介しました。ロータリーの7つ目の重点項目に「環境の保護」が追加されたことを受け、若いローターアクターならではの視点、価値観、そして活動（例として、10代以下の学生や生徒に向けた環境教育など）がますます広がることの期待と、今後はロータリー・ローターアクト単体でなく専門組織とのコラボの必要性を感じました。本年度は新しいローターアクトクラブも設立されました。東京臨海西ロータリークラブをスポンサーとした東京臨海西ローターアクトクラブが11月2日に正式にRIに加盟承認されました。現在の会員数は14名で、新しいクラブながら既に活発に例会を定期的で開催しているとのこと。

本年度も残り約4か月となりました。ロータリーと同様、ローターアクトでも各クラブ・地区の双方で次年度に向けた準備や引継ぎなどが本格的にはじまっています。ローターアクトもロータリーと同様、単年度制の組織であるからこそ、個々人が与えられた役職に真剣に向き合うことができますし、結果的にその1年間、責任をもって全うできます。そんなローターアクトの1年間の集大成といえば、5月の地区年次大会です。本年度の第54回地区年次大会は、5月7日（日曜日）、タワーホール船堀にて開催を予定しております。大会テーマを「Forecast」とし、「今年の各クラブの活動がここに来ればわかる！」というコンセプトで鋭意企画を進めています。多くの地区年次大会が、着座して一方通行的に活動やプログラムを聞く形式をとっていますが、参加者が能動的に活動を知り、会員と交流することができるよう、展示会のようなブース形式で開催します。ローターアクトの魅力や活動が伝わる会にしていきたいので、ぜひご参加いただければ幸いです。

例会での卓話・ローターアクトへの会員紹介をご希望の方は、rid2580ra@gmail.com までご連絡をいただきたいです。

チーム嶋村 ガバナー月信

制定案・決議案 ～クラブからの提案によりロータリー活動を改善できます～

執筆：地区制定案・決議案検討委員会

1. 制定案・決議案とは

ロータリーは、その活動を円滑に遂行するために組織化されており、その組織はいわゆる組織規定によって規定されています。この組織規定には、RI 定款、RI 細則、標準ロータリークラブ定款、推奨ロータリークラブ細則、国際ロータリーのロータリー財団細則があります。推奨ロータリークラブ細則を除く組織規定の改正は制定案（いわば条文制定案）として提案され、3年毎に開催される規定審議会で審議され、採択されることで適用されます。

また、組織規定文書に記載されている事柄の範囲外で、RI 理事会またはロータリー財団管理委員会による決定を求めるものが決議案（いわば方針決議案）です。提案された決議案は、毎年開催される決議審議会で審議され、採択された事項はRI 理事会等に対する要請となります。

2. 制定案・決議案の提案

制定案、決議案の提案は、クラブ、地区大会、及びRI 理事会によって行われますが、クラブ提案の制定案・決議案は地区の承認を受けなければなりません。記述内容は、取り上げる課題を特定し、制定案・決議案がこの課題をどのように解決するかを300語以下（邦文では約400～500字程度）で説明する必要があります。

3. 採択された制定案の適用

規定審議会で採択された制定案は、各クラブに報告され、すべてのクラブの有効投票の少なくとも5%に相当するクラブからの反対の意思表示によって一時保留されない限り、審議会閉会直後の7月1日に効力が生じます。制定案は、ロータリーの組織規定に変更を加えますから、制定案の内容が標準ロータリークラブ定款を変更する場合、それは直ちにクラブ運営に影響します。なお、各クラブに適用されている標準ロータリークラブ定款の改正は規定審議会によってしか改正できないことになっています。もし、自クラブのみならず、各クラブに共通するような運営上の変更を求める場合には制定案の提案が必要です。

4. 採択された決議案の実施

決議案はロータリー全体の方向性、運営方法その他に対してのRI 理事会に対する要望等に関しますが、決議審議会で採択されますとRI 理事会による検討後、RI 理事会から各クラブ、機関等に対してさまざまに要請されることになります。決議案は、地域的または運営的な事柄に関するものより、ロータリー世界に影響を与えるものが理想とされています。

5. 採択された提案の例

2021-22年度の決議審議会では、当地区の東京お茶の水RCが提案した「理事会会合議事録へのアクセスと読みやすさを改善する件（22R-06）」が採択され、RI 理事会による検討後、それがRI 事務総長に可視性を改善するように要請されたとのことです。これによって、ロータリーのWebサイトにおけるRI 理事会等の動向を一層理解できるようになると期待できます。このように、クラブ等による提案によってロ

チーム嶋村 ガバナー月信

ロータリー活動を改善できます。

6. 提案の意義

制定案・決議案はいずれも、各クラブ、ロータリーの方針、運営その他に大きな影響を与えます。クラブとして、あるいはロータリアン個人としてロータリーに対する想い、要望がさまざまにあると思います。もし、それがロータリー全体にとって重要なものであり、そのためには組織自体を変更する必要がある、ロータリーとして新しく取り組むことがある等があれば、これらを制定案・決議案として具体的に提案できます。

7. 提案の提出期限

2022-23年度の提出締切日は、制定案では2023年12月31日（2025年4月に開催予定の規定審議会に提案）、決議案では2023年6月30日（2023年10月に開催予定の決議審議会に提案）となっています。

ロータリーに対する想い、要望等を制定案・決議案として具体的に提案することで、ロータリーを一層良くすることができます。そのためにも積極的に提案しましょう。

グラフで見る地区の会員数分析

～クラブにおける会員増強のためのヒント・アイデアを提供します～

第2580地区サイトの「会員数」ページにある情報から会員数分析を行いました。

コロナ禍の影響による会員数減少に歯止めがかかりました。また、女性会員数は増加傾向にあります。

「会員数」ページ：<https://www.rid2580.org/syusseki/>

1. 2018年6月から6か月ごとの会員数の推移

2018年12月、3050人となった後、2021年6月（2022年6月も）、2831人となりました。

2022年12月、2896人となっています。



2. 2017-18年度から年度ごとの増減数の推移（7月1日を基準とする翌年6月30日の増減数）

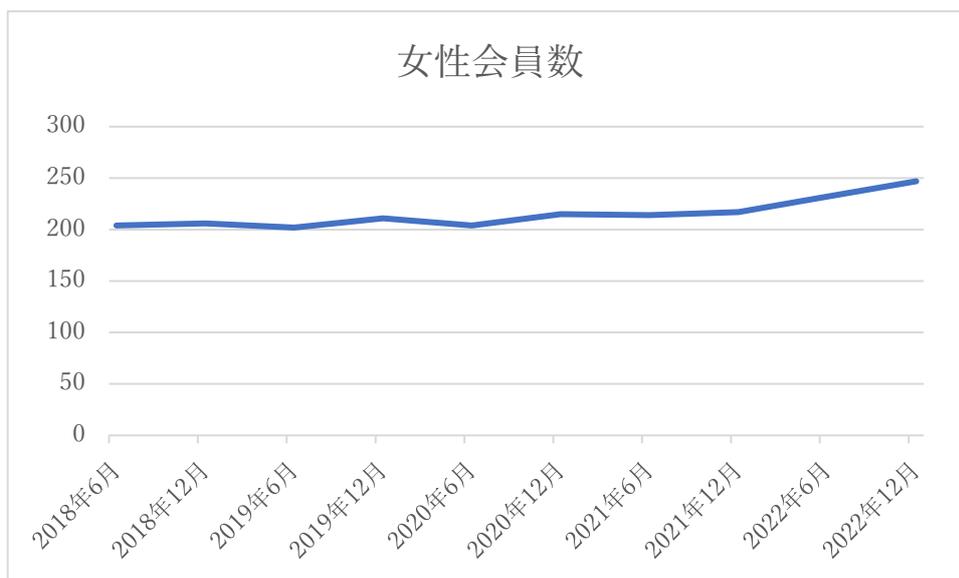
2017-18年度増減数は-1でした。2019-2020年度増減数は-122でした。

2021-22年度は0（増減なし）となりました。



3. 2018年6月から6か月ごとの女性会員数の推移

2018年6月、204人でしたが、2022年12月、247人となっています。



4. 分析のまとめ

- ① コロナ禍の影響による会員減少に歯止めがかかりました。前年度は増減なしとなりました。
- ② 本年度の開始時点から2022年12月末までは、65名の増加となっています。
- ③ 会員数の現状維持（増減なし）から、本年度の終了時点において会員数増加とするためには、「6月末退会者」をいかに防止するかにあるといえるでしょう。
- ④ コロナ禍の影響による会員減少の中でも、女性会員数は増加傾向にあり、会員数全体の割合としては8.5%となっています。
- ⑤ この分析は地区全体の傾向です。クラブの傾向とは異なると存じます。クラブも傾向の分析をしてはいかがでしょうか？

退会者情報の分析 ～クラブにおける退会防止のためのヒント・アイデアを提供します～

ポイント：

- ① 退会者について、退会月、年齢層、会歴、退会理由などをデータ（数字）で見ることを目的とします。情報収集の時期は、2023年1月26日から2月17日まで、退会日は2022年6月1日から12月31日までです。
- ② 退会月としては、6月、12月に集中していることが数字で見ることができます。第2580地区サイトの「会員数」ページによると、2022年6月の退会者は88名、2022年12月の退会者は48名です。2022年6月から12月までの退会者は177名ですので、2022年6月と12月の退会者は76.8%を占めます。
- ③ また、年齢層別で見ると（任意の提供ですので、実際の人数とは合致していないと存じます）、80代以上の退会者（物故者含む）が最も多く（15名）、ついで60代（10名）、40代（9名）となります。なお、30代の退会者は1名となっていますが、これは30代の会員がそもそも少ないことによるということでしょう。
- ④ 年齢層と退会理由をクロスさせると次のような特徴が見えてきます。たとえば、70代・80代以上の退会理由は、「高齢」「体調不良」「健康」「事業経営から引退」「物故」などです。これに対して、40代・50代・60代の退会理由は「転勤」（金融機関の勤務者など）「仕事の都合」「活動時間が取れない」「引越し」「出産」「子どもの教育のため」などです。ライフサイクルと連動しているといえます。
- ⑤ 退会理由として「理由不明」（「一身上の都合」含む）が最も多くなっています。会歴10年以上の会員についても「理由不明」は14名のうち7名となるのが気になるところです。普段からのコミュニケーションが必要といえるでしょう。退会者からその理由を聞くことは難しいことですが、退会者アンケートなどを実施し、今後の退会防止のための参考にする必要があるかもしれません（会長幹事は暗黙的に認識していても、開示しづらい情報かもしれませんが）。

データ：

1. 退会者数（任意の提供ですので、実際の人数とは合致していないと存じます）

47名

2. 退会月（小数点第2位切捨て）

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
人数	13	2	4	4	0	6	18
割合	27.6%	4.2%	8.5%	8.5%	0%	12.7%	38.2%

3. 退会者の年齢層（小数点第2位切捨て）

	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
人数	1	9	6	10	6	15
割合	2.1%	19.1%	12.7%	21.2%	12.7%	31.9%

4. 退会者の性別（小数点第2位切捨て）

	男性	女性
人数	41	6
割合	87.2%	12.7%

5. 職業

電子機器開発・製造、化成品製造、化工機製造、工業用ゴム製造、地方銀行、商業銀行、信用金庫（2名）、金融、総合環境衛生管理、弁護士、不動産業（3名）、不動産賃貸、不動産鑑定、卸売業、税理士、循環器科医/脳腫瘍内科医、介護サービス、日本舞踊家、紳士靴（製造）、酒類製造販売、石油製品卸、ゴルフ場経営、出版、結婚情報サービスカウンセリング・コーチング、シール印刷、ビジネスサービス、事務用品、飲料、物流サービス、総合物流、病院経営コンサルタント、資産運用、ビジネスホテル、大学教授、鍼灸マッサージ、ペットサービス、飲食業、司会業、床材販売、作詞家、建築工事、不動産コンサルタント、緑化コンサルタント、土木工事資材、通信販売

6. 退会者の会歴（小数点第2位切捨て）

	3年未満	3年以上10年未満	10年以上
人数	9	15	23
割合	19.1%	31.9%	48.9%

7. 退会理由（小数点第2位切捨て）

	理由不明	仕事の都合	高齢	物故	家族の事情	その他
人数	14	11	8	4	5	5
割合	29.7%	23.4%	17.0%	8.5%	10.6%	10.6%

※理由不明は「一身上の都合」を含む。

※仕事の都合は「転勤」など。

※高齢は「体調不良」を含む。

※家族の事情は「介護」「出産」「子どもの教育」など。

※その他は「引越し」「事業から引退」「経営不振」「活動時間がとれない」。

8. クラブ別の退会者数（クラブ名、一部省略）

東京西北（1名）、東京神田（2名）、東京新宿（3名）、東京新都心（2名）、東京北（2名）、東京浅草（3名）、東京荒川（1名）、東京小石川（3名）、東京本郷（3名）、東京板橋セントラル（1名）、東京後楽（5名）、東京東（11名）、東京東江戸川（2名）、東京ベイ（4名）、東京臨海東（1名）、東京武蔵野中央（2名）、浦添（1名）、以上17クラブから回答

ご協力いただきましたクラブのみなさま、退会者情報をご提供いただき、誠にありがとうございました。

入会者情報 ～クラブにおける会員増強のためのヒント・アイデアを提供します～

1. 情報収集の時期

2023年1月16日から2023年2月15日まで（なお、入会日は11月1日から2月13日まで）

2. 入会者数（任意の提供ですので、実際の人数とは合致していないと存じます）

13名

3. 入会者の年齢層（小数点第2位切捨て）

	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
人数	0	2	3	4	3	1
割合	0%	15.3%	23.0%	30.7%	23.0%	7.6%

※最年少33歳、最年長70歳

4. 入会者の性別（小数点第2位切捨て）

	男性	女性
人数	9	4
割合	69.2%	30.7%

5. 職業

鉄道運輸—旅客、経営コンサルティング（2名）、弁護士—民事、生命保険、ゴルフ練習場、病院経営コンサルタント、結婚相談所、石油製品販売、行政書士、電気部品製造、建築塗装業、ビルメンテナンス

6. 紹介者との関係

学校の後輩、同じ商工会議所メンバー、同じ法人会に所属、友人（4名。仕事上の友人、ご子息同士同じ学校に通われている親御様同士のご友人、学生時代の友人含む）、同業者、法人会、嶋村ガバナーご紹介、取引先、八重山青年会議所で知り合った、知人の紹介

7. クラブ別の入会者数（クラブ名、一部省略）

東京（2名）、東京西北（1名）、東京紀尾井町（2名）、東京東（1名）、東京江東（1名）、東京城東（2名）、東京東江戸川（1名）、東京葛飾中央（1名）、石垣（1名）、那覇東（1名）、以上10クラブから回答

8. 特記事項

- ・2022年7月以降、女性入会者の場合の「紹介者との関係」は下記のとおりです。

趣味のアカデミー（2名）、地域関係者（2名）、クラブのサイトを見て、チャーターメンバーの故人を引継ぎご入会、友人（4名。仕事上の友人、ご子息同士同じ学校に通われている親御様同士のご友人含む）、知人（2名）、PTA関係、職場でのつながり、JCの後輩、取引先、元会員の大学理事後任者、同じ商工会議所メンバー、法人会

ご協力いただきましたクラブのみなさま、入会者情報をご提供いただき、誠にありがとうございました。

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

米山功労者・メジャードナー

82回	鈴木 孝雄（東京池袋豊島東）
19回	千葉 嘉胤（東京新宿）
16回	松坂 順一（東京葛飾東）
13回	當麻 誠（東京東村山）

米山功労者・マルチプル

5回	鈴木 康友（東京葛飾）
----	-------------

1月31日分まで 敬称略、順不同

心よりお悔やみ申し上げます

関根由起子（せきねゆきこ）会員
東京秋川ロータリークラブ
ご逝去日：2023年1月30日 享年73
入会日：2017年2月9日
藤本商店株式会社 取締役会長
ポール・ハリス・フェロー

編集： 国際ロータリー第2580地区 ガバナー月信編集委員会
ガバナー月信へのお問い合わせ／コメント： info@motoffice.jp

チーム嶋村 ガバナー月信